

# 平成23年度大学・地域連携事業・事業報告

平成24年3月31日

## 1 担当校

- 主担当 滋賀県立大学
- 副担当 龍谷大学
- 副担当 長浜バイオ大学

## 2 委員会活動

- 第1回(2011年6月10日) 環びわ湖大学・地域コンソーシアム会議室
  - ・平成23年度事業計画について
  - ▽交流フェスタ第1回企画会議(2011年7月13日) 立命館大学
  - ▽交流フェスタ第2回企画会議(2011年8月22日) 環びわ湖大学・地域コンソーシアム会議室
- 第2回(2011年9月5日) 環びわ湖大学・地域コンソーシアム会議室
  - ・大学地域交流フェスタ2011について
- 第3回(2011年11月22日) 環びわ湖大学・地域コンソーシアム会議室
  - ・大学地域交流フェスタ2011の実施について
  - ・その他、次年度事業について
- 第4回(2012年3月1日) 環びわ湖大学・地域コンソーシアム会議室
  - ・平成23年度事業結果について
  - ・平成24年度事業計画(案)について

## 3 「大学・地域交流フェスタ2011」の開催

- (1) 実施日 平成23年12月17日(土)
- (2) 場 所 立命館大学 エポック立命21 ほか
- (3) 開催趣旨 市民と連携し、地域の魅力発掘や発信を行ったり、震災復興の支援活動に取り組むなど、大学と地域の協働のあり方について実践交流を行う。  
テーマ:「市民と連携する大学と地域との協働のカタチ」
- (4) 参加者等 県内大学関係者、学生および自治体関係者 約200名
- (5) 概 要

○基調講演 「近江を歩く、近江を語る」 講師:西本椰枝氏(旅行作家)

○ポスターセッション

①自治体関係(大津市、彦根市、長浜市、草津市、東近江市の取組み紹介)、②セッション報告関係、③その他、大学と地域連携に関する特色のある取組み について発表

○実践交流会 (~16:20)

【セッション1:東日本大震災と復興支援】

学生の現地ボランティア活動や各大学で取り組んでいる復興支援活動の報告を行い、今後の取組みについて意見交換を行う。

<事例報告>

①被災した写真の修復ボランティア(成安造形大学)

②木工で復興支援-漁業関係者のための小屋づくり(滋賀県立大学)

③学生ボランティア派遣支援事業（学生支援事業）でのボランティア活動

【セッション2：シティ・プロモーション】

地域の魅力を創り出し、それを内外へ発信し、まちのブランドイメージを高め、元気で活力のあるまちを創るプロモーション活動が各地で進められている。モノづくりから地域イベントの創出、地域プロモーションなど具体的な活動報告を受け、今後の取組みについて意見交換を行う。

<事例報告>

- ①「ちま吉くん」による大津祭りのPR（NPO 法人大津祭曳山連盟と成安造形大学）
- ②信楽町における窯元散策路整備とOgama（おおがま）改装プロジェクト
- ③地域との連携による学生活動、情報発信活動（立命館大学）

【セッション3：地域再発見】

「アクティブ滋賀 そや！琵琶湖へ行こう」をテーマの実施した学生支援事業の成果を学生目線で滋賀の魅力や振興の発信を行う。

○クロージングセッション／交流会

#### 4 地域政策ネットワーク事業

趣旨) 自治体職員の政策能力向上、大学職員の地域貢献政策能力の向上を目的として、中小企業振興政策に関する実践的政策課題をテーマに実施。成果は、「地域政策ネットワーク」研究会報告書としてとりまとめた。

【開催状況】

- |                      |  |
|----------------------|--|
| ○第1回研究会（2011年7月8日）   | テーマ：日本経済の現状と中小企業政策<br>講師：肥塚 浩氏（立命館大学） 12名<br>会場：環びわ湖大学・地域コンソーシアム会議室      |
| ○第2回研究会（2011年7月28日）  | テーマ：中小企業経営の課題と支援機関の役割<br>講師：西岡 孝幸氏（滋賀県産業支援プラザ） 12名<br>会場：大学サテライト・プラザ彦根   |
| ○第3回研究会（2011年8月24日）  | テーマ：地域資源活用と知的資産経営<br>講師：中森 孝文氏（龍谷大学） 14名<br>会場：環びわ湖大学・地域コンソーシアム会議室       |
| ○第4回研究会（2011年10月28日） | テーマ：中小企業振興と地域金融機関<br>講師：吉原 清嗣氏（立命館大学） 10名<br>会場：大学サテライト・プラザ彦根            |
| ○第5回研究会（2011年11月12日） | テーマ：中小企業振興に関わる政策課題<br>講師：山本 尚史氏 ほか 29名<br>会場：ピアザ淡海305会議室<br>※セミオープン形式で開催 |
| ○第6回研究会（2012年1月19日）  | テーマ：中小企業経営と中小企業政策<br>講師：肥塚 浩氏（立命館大学） 11名<br>会場：環びわ湖大学・地域コンソーシアム会議室       |

(以上)

# 平成23年度学生支援事業報告

平成24年3月31日

## 1. 担当は以下の通り

主担当 滋賀医科大学

副担当 立命館大学、成安造形大学

参画大学・短大 びわこ成蹊スポーツ大学、滋賀文教短期大学、聖泉大学

## 2. 平成23年度学生支援事業（継続事業）について

「アクティブ滋賀 そや！琵琶湖へ行こう」をスローガンに、2011年9月10日(土)～11日(日)に県内12大学の学生55名、教職員15名の合計70名が参加し、4グループに分かれて研修活動を実施した。

活動内容は、1. 沖島活動（清掃ボランティア（ゴミから学ぶびわ湖の環境、沖島の実情）と生業（漁協体験（地引網））2. 信楽活動（学び体験：信楽高原鉄道乗車、陶芸の森、伝統産業会館の見学及び作陶体験）3. 農業活動（生産（ソーセージ・アイスクリーム手作教室）と植樹体験（記念植樹プレートの設置））4. マリンスポーツ活動（琵琶湖を感じる：ボート体験を通じて琵琶湖の良さや自然を体験理解）をそれぞれの班に分かれて活動し、宿泊研修として、学生交流会（1日の総括、交流成果発表テーマ及び発表メンバー選出）などを実施した。

これらの活動を通じて社会学習的な学び、大学の垣根を越えた交流から得られた成果と滋賀の魅力や振興について学生からの目線による「滋賀の魅力の発見や観光振興等の気付き」の提案や成果を「環びわ湖・大学地域交流フェスタ 2011 (2011.12.17)」において発表した。

（東日本大震災地域復興支援事業）

## 3. 東日本大震災地域復興支援学生ボランティア派遣事業について

しがNPOセンター協力企画「いわてGINGA-NETプロジェクト」と連携し、（滋賀発！【学生対象】6泊7日ボランティアバスツアー）に参加する学生ボランティアを支援した。派遣期間は、2011年8月31日（水）～9月6日（火）（バス車中2泊を含む）。

県内5大学33名の学生及び環びわ湖大学・地域コンソーシアムから、立命館大学の職員1名が参加した。また、被災地域の復興支援にとどまらず、事前・事後勉強会を開催するなど、教育的な企画とし、これらの活動も、前出の「環びわ湖・大学地域交流フェスタ 2011」において報告・発表を行った。

（外国人留学生派遣事業）

## 4. 外国人留学生派遣事業「甲賀市観光サポーター（地域連携支援）」について

滋賀県甲賀市の「こうかブランドマネジメント会議」と連携し、外国人旅行客の獲得や集客をめざす企画の一環で「甲賀市留学生観光サポーター」として、県内3大学の5名が活動している。活動期間：2012年1月26日～2013年3月31日 以上

# 平成23年度高大連携事業報告

平成24年3月31日

## 1. 担当は以下の通り

主担当校 立命館大学

副担当校 滋賀大学

## 2. 滋賀県高等学校進路指導研究会との連携による講演会の実施について

滋賀県高等学校進路指導研究会と連携して、高大連携事業委員会の事業として、下記の講演会を実施した。

### ① 7月21日（木） 滋賀県高等学校進路指導研究会 第1回進学部会

演題：「新課程におけるキャリア教育とは ―高大接続教育の視点から―」

講師：椋本 洋 立命館大学 教育開発推進機構教授

参加：70名

### ② 10月14日（金） 滋賀県高等学校進路指導研究会 第2回進学部会

演題：入学前教育と入学後の学生の伸びについて

講師：山本 以和子 京都工芸繊維大学 アドミッションセンター 准教授

参加：50名

## 3. 「学びへの誘い」の実施について

高校低学年の生徒を対象にして、大学での「学び」を大きな学問分野のくくりにおいて触れる機会を提供し、よりよい進路選択と大学入学後の「学び」を知ることが目的として、「学びへの誘い」を実施した。

### (1) 実施日

11月27日（日）

### (2) 実施内容

① 模擬講義

② 大学個別相談会

③ 資料コーナー

### (3) 実施会場

【滋賀大学 彦根キャンパス】

参加大学：滋賀大学、滋賀文教短期大学、聖泉大学、長浜バイオ大学、びわこ学院大学・短期大学部

【立命館大学 びわこ・くさつキャンパス】

参加大学：滋賀医科大学、滋賀短期大学、龍谷大学、成安造形大学、びわこ成蹊スポーツ大学、立命館大学

### (4) 実施案内方法・参加者集約

① 滋賀県下高校62校（公立・私立・定時制）の1・2年生の全員、約28,000人に高校を通じてリーフレットを送付した。

②高校ごとに参加者集約を行い、事務局で集約を行った。

参加希望者 15 高校 71 名

当日参加者 13 高校 58 名（教員、保護者含む）

(5) 実施結果

①模擬講義

今年度新規の企画で、また各大学での出張講義、オープンキャンパスなどが実施される中、各大学の講義担当の先生方には熱心に講義をしていただき、受講した生徒も一様に満足度が高い結果となった。なお、県立大学は模擬講義を実施せず資料参加のみであった。

なお、滋賀短期大学は申込者が1名のため模擬講義の実施を取り止めた。また、当日、希望生徒の欠席により受講者がなかった滋賀大学、びわこ学院大学・短期大学の講義は実施しなかった。

②大学個別相談

大学ごとに個別相談コーナーを設置した。

③資料コーナー

両会場ともに、参加全大学の資料を設置した。

各大学においては、大学案内や入学願書が準備され、希望する生徒が持ち帰った。

(6) 収支

科目	適用	経費
印刷製本費	「学びへの誘い」リーフレット 30,000 枚	262,500
保険料	参加者傷害保険	2,100
発送費	リーフレット発送 (64 校)	35,805
制作費	誘導看板 等	76,923
旅費交通費	滋賀大学送迎用 (近江バス)	29,700
謝金	模擬講義講師謝金 12 名	240,000
支払い手数料		8,295
合計		655,323

(以上)

## 平成23年度 就職支援事業報告

平成24年3月31日

### 1. 担当は以下の通り

主担当校 龍谷大学  
副担当校 滋賀県立大学  
びわこ学院大学、滋賀文教短期大学、聖泉大学

### 2. 合同企業説明会について

滋賀県内大学の企業・事業所の優位性を広く学生に認知してもらい、より多くのマッチングを実現するために、「合同企業説明会」を県内3ヶ所において開催し、学生の就職支援を行った。(湖北：7月、湖南：8・12月)

#### ◎湖北会場

- ・ 開催日時：2011年7月30日(土) 13:00～16:00
- ・ 開催場所：滋賀県立文化産業交流会館イベントホール
- ・ 主催：環びわ湖大学・地域コンソーシアム
- ・ 参加企業数：19社(内1社は求人情報提供のみの参加)
- ・ 参加学生数：62名
- ・ 経費：365,280円

#### ◎湖南会場①

- ・ 開催日時：2011年8月30日(火) 13:00～16:00
- ・ 開催場所：大津プリンスホテル
- ・ 主催：大津市
- ・ 共催：ハローワーク大津、環びわ湖大学・地域コンソーシアム
- ・ 参加企業数：36社
- ・ 参加学生数：165名
- ・ 経費：126,997円

#### ◎湖南会場②

- ・ 開催日時：2011年12月13日(火) 14:00～16:30
- ・ 開催場所：ピアザ淡海 大会議室
- ・ 主催：環びわ湖大学・地域コンソーシアム
- ・ 参加企業数：24社
- ・ 参加学生数：56名
- ・ 経費：168,185円

### 3. 滋賀県内企業人事担当者と大学就職担当者との情報交換会について

12月13日(火)に開催された合同企業説明会の実施にあわせて、企業の人事担当者と大学の就職担当者が交流・意見交換を行う場を提供した。これは、大学に企業情報や求め

る人材が伝わりと同時に、この機会を通じてコネクションにより、企業と大学の距離が縮まり、マッチングの実現につながることを目的として開催した。

- ・ 開催日時：2011年12月13日（火）12:30～13:30
- ・ 開催場所：ピアザ淡海 大会議室（合同企業説明会と同会場）
- ・ 参加企業：17社（内9社は福祉系企業）
- ・ 参加大学：9大学（13名）
- ・ 経 費：合同企業説明会湖南会場②に含む

#### 4. 大学就職担当者間の情報交換会・研修会について

コンソーシアムに加盟する11大学から15名の就職指導担当者が一堂に集まり、外部講師による話題提供に基づいて意見交換を行うことにより、新たな知識の蓄積と滋賀県下における就職状況等の把握、他大学における先駆的な支援施策などを知ることで、今後のキャリア支援等に役立てることを目的とした研修会を開催した。

- ・ 開催日時：2011年8月31日（水）14:00～17:00
- ・ 開催場所：大学サテライト・プラザ彦根
- ・ 参加者数：11大学（15名）及び事務局1名
- ・ 研修会
  - ・ 講演：「大学で効果的なキャリア教育をすすめていくには？」  
～大学生が成長していく「物語」～
  - ・ 講師：毛受芳高氏（めんじょう よしたか）  
特定非営利活動法人アスクネット理事・総合プロデューサー
- ・ 情報交換会：
  - ・ 議題：「キャリア教育と就職支援のありかたについて」
- ・ 経 費：16,746円

#### 5. 学生を対象とした就職活動に活かす講演会の実施について

7月30日（土）に開催された合同企業説明会（湖北会場）の実施にあわせて、大手企業志向の学生が多い中で、滋賀県の強みである優良中小企業の魅力を知ってもらい、学生個々の個性が活かせる就職先とはどういう企業なのかを改めて考えさせることを目的として、外部講師を招き講演会を開催した。

- ・ 開催日時：2011年7月30日（土）10:30～12:00
- ・ 開催場所：滋賀県立文化産業交流会館イベントホール
- ・ 講 題：「中小企業の魅力とは」
- ・ 講演者：濱中倫秀氏（株式会社コミュニケーション）  
牧田もりかつ氏（BBCキャスター）
- ・ 参加学生数：9名
- ・ 経 費：21,420円

（以上）

## 2011 年度単位互換事業報告

平成24年3月31日

### 1. 担当は以下の通り

主担当校 滋賀大学  
副担当校 滋賀医科大学

### 2. 取り組みの経過について

2010年11月18日に教務担当者会議、12月2日に事業委員会を開催し、2011年度の単位互換事業の進め方（「ガイドライン」）について協議・決定し、2011年度の事業を開始した。また、2011年度から単位互換事業教務担当者会議と単位互換事業委員会を合同で行うこととした。

2011年1月から、各大学からの提供科目の集約、シラバス原稿の集約を行い、3月25日に環びわ湖大学コンソーシアム単位互換制度について（2011年度）をHPに掲載した。また、募集ガイドの発行に代えて募集チラシ、ポスターを作成し、各大学に配布した。4月上旬から、各大学で募集ガイダンスと出願受付を行い、4月末に科目提供大学で受講者を決定し、各大学で単位互換科目の授業が行われた。

6月22日に単位互換事業委員会及び教務担当者会議の合同会議を開催し、2011年度の単位互換事業の状況報告を行うとともに次年度の受講者数の増加対策として、集中講義を可能な限り提供すること、学生に向けての広報活動を年間通じて行うなど、単位互換事業の周知をより一層充実させていくことが確認された。また、6月に定員に余裕のある夏期集中科目や後期開講科目に対する追加募集の実施、さらに9月にも後期開講科目の追加募集を実施した。

11月17日の合同会議において、2006年度のアンケートを基に今年度の受講者に対してアンケート実施を行い、その結果を踏まえ受講者数の増加に向けて検討することとなった。

### 3. 単位互換事業の内容について

#### (1) 提供科目

2011年度の提供科目数は68科目（同一科目を複数の曜日時限に開講する場合に、それぞれを1科目として数えたもの）で、2010年度と比べて4科目増加した。集中講義は7科目で前年度より3科目増加したが、滋賀らしい科目は9科目で前年度より2科目減少した。

なお、実質的な科目数（学生が選択できる科目数）は、2011年度は65科目で前年度より4科目増加した。（提供科目一覧 別紙(1)参照）



## (2) 受講科目及び受講者数

提供科目のうち、他大学生が出願し受講が許可された科目数は 32 科目で前年度より 2 科目増加した。また、受講者が 0 名の大学が 3 校あり前年度より 1 校増えた。

受講率（＝受講科目数÷提供科目数）は 47%で、昨年度と同水準であった。

受講科目の中では、毎年度多くの受講者がある聖泉大学の「滋賀論」は、本年度も 54 名と多い。また、大学別の受講者の割合は、依然として立命館大学の受講者が受講者全体の 79%を占めている。

受講者数は、2011 年度 145 件（116 名）で前年度より 16 件（7 名）と 2 年続けて微増となった。（提供科目数・受講科目数の推移、受講科目一覧、受講者数 別紙 (2) (3) 及び(4)参照）

## (3) 成績取得状況

2011 年度の成績取得状況を見ると、145 件のうち、合格が 55%（80 件）である。前年度まで減少傾向にあった不合格者の割合が上昇に転じた。なお、不合格 65 件のうち、受講放棄・試験未受験と思われる者（成績評価が「0」または「評価なし」）が 58 件である。出願したものの、授業に出席しない学生や試験を受験しない学生が相当数存在する。事務を担う科目提供大学の負担となるため、より一層の働きかけが必要である。

なお、学期ごとの成績取得状況は、前期（春学期）科目 114 件のうち、合格が 56%（64 件）で、後期（秋学期）科目 31 件のうち、合格が 52%（16 件）である。

別紙

(1) 開講科目一覧

科目提供大学	科目番号	科目名	回生	単位互換定員	開講期間	曜日	時限	単位
滋賀大学	01	日本の歴史(e-learning12回、対面形式3回)	1以上	20名程度	秋学期	火	3	2
	02	美術の世界	1以上	10名程度	夏期集中			2
	03	芸術と文化	1以上	10名程度	夏期集中			2
	04	教育と文化	1以上	10名程度	秋学期	金	4	2
	05	近江とびわ湖Ⅱ	1以上	10名程度	秋学期	水	4	2
	06	国際化と東アジアを考える	1以上	10名程度	秋学期	月	1	2
	07	環境問題を学ぶ	1以上	10名程度	秋学期	木	2	2
滋賀医科大学	08	彦根・湖東学	1以上	10名程度	秋学期集中	土		2
	09	医学概論Ⅰ	1以上	15名	前期及び夏期集中	木	2	2
	10	医学概論Ⅱ	1以上	15名	後期	木	2	2
	11	臨床心理学	1以上	不問	前期	火	5	2
	12	臨床コミュニケーション学	1以上	30名	前期	金	3	2
	13	地域論※1	1以上	不問	後期	木	3or4	2
	14	睡眠学概論	1以上	10名	前期	金	1	2
滋賀県立大学	15	環境マネジメント総論(文系)※2	指定なし	10	前期	月	1	2
	16	環境マネジメント総論(理系)※2	指定なし	10	前期	月	2	2
滋賀短期大学	17	環境を考える	1以上	若干名	前期	木	1	2
	18	教育を考える	1以上	若干名	前期	木	3	2
	19	メディアと教育	1以上	若干名	後期	火	1	2
	20	子どもの心理学Ⅰ※3	1以上	若干名	前期	月	4	2
	21					火	3	2
	22	精神保健※3	1以上	若干名	後期	金	1	2
	23					金	2	2
	24	秘書学概論※3	1以上	若干名	前期	月	4	2
	25					水	4	2
	26	秘書実務Ⅰ	1以上	若干名	前期	月	3	1
滋賀文教短期大学	27	秘書実務Ⅱ	1以上	若干名	後期	月	2	1
	28	書道Ⅰ	1以上	若干名	春学期	火	3	2
	29	書道Ⅱ	1以上	若干名	秋学期	火	3	2
	30	地域文化概説	1以上	若干名	春学期	火	2	2
成安造形大学	31	美術理論	1以上	10名程度	前期	火	1	2
	32	文化史A	1以上	10名程度	前期	木	2	2
	33	文化史B	1以上	10名程度	後期	木	2	2
	34	近江学A	1以上	10名程度	通年	土	2	2
聖泉大学	35	滋賀論	1以上	若干名	前期集中			2
	36	解剖学	2以上	若干名	前期	水	2	2
長浜バイオ大学	37	基礎微生物学	1	10名	前期	月	5	2
	38	基礎生物学	1	5名	前期	水	1	2
	39	細胞生物学Ⅰ	1	5名	後期	金	2	2
	40	遺伝子工学	2	5名	後期	水	5	2
びわこ学院大学	41	東近江の地域学	1以上	不問	後期	火	1	2
	42	滋賀の環境	1以上	10名程度	後期	月	1	2
	43	ビジネスコミュニケーション(※短大部科目)	1以上	不問	後期	木	1	2
	44	人間福祉概論	1以上	不問	前期	木	4	2
	45	障害児保育学	2以上	10名程度	後期	木	4	2
	46	障害児教育学	2以上	10名程度	後期	金	2	2
	47	地域歴史学	1以上	不問	後期	水	3	2
びわこ成蹊スポーツ大学	48	地球の歴史と琵琶湖	1	若干名	前期	金	1	2
	49	生活の中の数学	指定なし	15名	前期	水	3	2
	50	環境と人間A	2年次以上	20名	前期	月	4	2
	51	教養教育科目特別講義「里山学入門」	指定なし	10名	前期	金・土	1	2
	52	都市社会学	3年次以上	指定なし	後期	木	3	2
	53	広報論	2年次以上	10名	後期	水	2	2
	54	公衆衛生学	3年次以上	5名	前期	金	2	2
	55	人間の心理と発達	2年次以上	5名	前期	木	3	2
立命館大学	56	社会人類学	2年次以上	10名	後期	月	2	2
	57	ODA・国際援助論 E	3以上	10	夏期集中			2
	58	環境・開発論 E	3以上	10	夏期集中			2
	59	経営と女性 B	1以上	10	夏期集中			2
	60	キャリア開発 B	1以上	10	後期	月	4	2
	61	心理学入門 TA	1以上	20	前期	水	2	2
	62	現代社会と法 TA	1以上	20	前期	木	5	2
	63	生物科学Ⅳ TX	1以上	20	前期	金	3	2
	64	メンタルヘルス G1	3以上	10	後期	金	3	2
	65	現代の国際関係と日本 C	1以上	10	前期	火	5	2
	66	生命科学と倫理 MA	1以上	10	前期	月	5	2
	67	スポーツと現代社会 V	1以上	10	後期	金	5	2
	68	スポーツ史 V	1以上	10	後期	水	3	2

(2) 提供科目数・受講科目数の推移 <自大学への出願を除く>

科目提供大学		滋賀大学	滋賀医科大学	滋賀県立大学	滋賀短期大学	滋賀文教短期大学	成安造形大学	聖泉大学	長浜バイオ大学	びわこ学院大学	びわこ成蹊スポーツ大学	龍谷大学	立命館大学	全大学計
2006年度	提供科目数	4	5	3	7	4	11	4	3	2	2	8	9	62
	受講科目数	2	3	3	5	1	2	1	1	0	1	8	5	32
	受講率	50%	60%	100%	71%	25%	18%	25%	33%	0%	50%	100%	56%	52%
2007年度	提供科目数	4	5	5	8	6	7	3	3	2	2	8	21	74
	受講科目数	4	3	3	6	4	5	1	0	2	2	6	11	47
	受講率	100%	60%	60%	75%	67%	71%	33%	0%	100%	100%	75%	52%	64%
2008年度	提供科目数	3	5	3	9	4	7	3	3	2	7	8	12	66
	受講科目数	2	5	1	7	2	4	2	0	2	0	8	5	38
	受講率	67%	100%	33%	78%	50%	57%	67%	0%	100%	0%	100%	42%	58%
2009年度	提供科目数	5	6	3	18	6	8	4	4	3	2	9	9	77
	受講科目数	4	4	1	7	3	1	1	0	2	0	6	4	33
	受講率	80%	67%	33%	39%	50%	13%	25%	0%	67%	0%	67%	44%	43%
2010年度	提供科目数	5	6	2	9	3	4	5	4	3	4	8	11	64
	受講科目数	4	4	0	4	2	2	2	0	1	1	6	4	30
	受講率	80%	67%	0%	44%	67%	50%	40%	0%	33%	25%	75%	36%	47%
2011年度	提供科目数	8	6	2	11	3	4	2	4	7	1	8	12	68
	受講科目数	7	3	2	3	1	0	1	0	4	0	6	5	32
	受講率	88%	50%	100%	27%	33%	0%	50%	0%	57%	0%	75%	42%	47%

(3) 受講科目一覧

科目提供大学名	科目名	受講者数
滋賀大学	日本の歴史	2
滋賀大学	美術の世界	14
滋賀大学	芸術と文化	14
滋賀大学	教育と文化	2
滋賀大学	近江とびわ湖Ⅱ	1
滋賀大学	国際化と東アジアを考える	1
滋賀大学	彦根・湖東学	7
滋賀医科大学	臨床心理学	7
滋賀医科大学	臨床コミュニケーション学	3
滋賀医科大学	睡眠学概論	3
滋賀県立大学	環境マネジメント総論(文系)	1
滋賀県立大学	環境マネジメント総論(理系)	1
滋賀短期大学	メディアと教育	2
滋賀短期大学	秘書学概論	1
滋賀短期大学	秘書実務Ⅰ	1
滋賀文教短期大学	書道Ⅱ	2
聖泉大学	滋賀論	54
びわこ学院大学	東近江の地域学	1
びわこ学院大学	ビジネスコミュニケーション	1
びわこ学院大学	障害児保育学	1
びわこ学院大学	地域歴史学	1
龍谷大学	環境と人間A	1
龍谷大学	教養教育科目特別講義「里山学入門」	1
龍谷大学	都市社会学	2
龍谷大学	広報論	5
龍谷大学	人間の心理と発達	3
龍谷大学	社会人類学	2
立命館大学	ODA・国際援助論 E	3
立命館大学	環境・開発論 E	1
立命館大学	経営と女性 B	5
立命館大学	現代社会と法 TA	1
立命館大学	メンタルヘルスG1	1
総計		145

(4) 受講者数

		学生所属大学							
		滋賀大学	滋賀県立大学	滋賀短期大学	長浜バイオ大学	びわこ学院大学	龍谷大学	立命館大学	総計
科目提供大学	滋賀大学		1	1	2	1		36	41
	滋賀医科大学					1		12	13
	滋賀県立大学	1			1				2
	滋賀短期大学		2					2	4
	滋賀文教短期大学				2				2
	聖泉大学	2			1		2	49	54
	びわこ学院大学	2						2	4
	龍谷大学							14	14
	立命館大学	6			3		2		11
	総計	11	3	1	9	2	4	115	145

4. 2012年度（平成24年度）における単位互換事業に向けた取り組みについて

2012年度の単位互換事業の実施に向けて、2011年11月17日に単位互換事業委員会及び教務担当国会議の合同会議を開催した。

2012年度の受講者数の増加方策として、前年度同様、土日、夏期等の集中開講科目の提供、サテライト教室での開講、魅力のある滋賀らしい科目の提供を要請した。また、2012年度の単位互換事業の進め方、単位互換事業のガイドラインについて協議し、決定した。

2012年度の開講・出願スケジュールは、別添のとおりである。

《 2012 年度開講・出願スケジュール 》

月日	教務日程	備考
1 月 27 日 (金)	【開講】2012 年度提供科目報告期限	所定フォーマット
2 月 17 日 (金)	【開講】2012 年度開講科目シラバス原稿第 1 次集約締切	所定フォーマット 最終締切は 3/7
3 月 7 日 (水) 【厳守】	【開講】2012 年度開講科目シラバス最終原稿締切	
3 月中旬	【開講】2012 年度「募集ガイド」HP 掲載	
4 月上旬	【出願受付】募集ガイダンス・出願受付	
～4 月 12 日 (木)	【出願受付】出願受付 <各大学> ※許可発表以前に開講される科目は、仮受講を認める。	各大学の状況に応じて設定
4 月 16 日 (月) 17:00 【厳守】	【出願受付】「出願票」提出期限 <各大学→科目提供大学>	所定フォーマット
4 月 17 日 (火) ～4 月 23 日 (月)	【出願受付】出願者の選考 <科目提供大学>	
4 月 24 日 (火) 17:00 【厳守】	【出願受付】選考結果連絡 <科目提供大学→学生所属大学および事務局大学>	所定フォーマット
4 月 25 日 (水) ～4 月 27 日 (金)	【出願受付】許可発表 <b>※各大学の状況に応じてこの日までに設定。</b>	
随時	【出願受付】受講登録	所属大学で随時
4 月 23 日 (月) ～5 月 9 日 (水)	【追加募集】追加募集対象科目の選考 <科目提供大学>	
5 月 10 日 (木) 17:00 【厳守】	【追加募集】追加募集対象科目の報告 <各大学→事務局大学> ※夏期集中・後期科目を対象とする。	所定フォーマット
5 月 11 日 (金)	【追加募集】追加募集対象科目一覧の送付 <事務局大学→各大学>	
5 月 28 日 (月) ～6 月 11 日 (月)	【追加募集】追加募集受付 <各大学>	各大学の状況に応じて設定
6 月 13 日 (水) 17:00 【厳守】	【追加募集】追加募集「出願票」提出期限 <各大学→科目提供大学>	
6 月 14 日 (木) ～21 日 (木)	【追加募集】追加出願者の選考 <科目提供大学>	所定フォーマット
～6 月 22 日 (金) 17:00 【厳守】	【追加募集】追加募集選考結果連絡 <科目提供大学→学生所属大学および事務局大学>	所定フォーマット

6月25日(月) ～6月29日(金)	【追加募集】許可発表 ※各大学の状況に応じてこの日までに設定。	
随時	【追加募集】追加募集許可者の受講登録	所属大学で随時
8月20日(月) ～8月28日(火)	【再追加募集】追加募集対象科目の選考 <科目提供大学>	
8月29日(水) 17:00【厳守】	【再追加募集】追加募集対象科目の報告 <各大学→事務局大学> ※後期科目を対象とする。	所定フォーマット
8月30日(木)	【再追加募集】追加募集対象科目一覧の送付 <事務局大学→各大学>	
9月13日(木) ～9月20日(木)	【再追加募集】追加募集受付 <各大学>※許可発表以前に開講される科目は、仮受講を認める。	各大学の状況に応じて設定
9月21日(金) 17:00【厳守】	【再追加募集】追加募集「出願票」提出期限 <各大学→科目提供大学>	
9月24日(月) ～9月28日(金)	【再追加募集】追加出願者の選考 <科目提供大学>	所定フォーマット
～10月1日(月) 17:00【厳守】	【再追加募集】追加募集選考結果連絡 <科目提供大学→学生所属大学および事務局大学>	所定フォーマット
10月2日(火) ～10月12日(金)	【再追加募集】許可発表 ※各大学の状況に応じてこの日までに設定。	
随時	【再追加募集】追加募集許可者の受講登録	所属大学で随時

(以上)

## 平成23年度広報事業報告

平成24年3月31日

### 1. 担当は以下の通り

事務局

### 2. ホームページの管理・運営について

コンソーシアムのホームページを通して、各大学等で開催されるイベント等の情報提供を行った。年度内において「お知らせ」記事を31件ホームページ上で掲載した。

#### (1) トップページを更新

新たに滋賀経済同友会（正会員）のバナーを設置するとともに、リンク集に滋賀経済同友会と琵琶湖汽船株式会社（賛助会員）を追加した。

#### (2) 情報内容の更新

①すべての事業委員会のページを更新した。

②5月30日の総会の決議を受けて、定款、組織図、役員一覧、役員会議事録、財務状況、加盟団体一覧を更新した。

③各大学の紹介ページ、学問系統別一覧を更新した。なお、各大学へのアクセスマップは、各大学のホームページから正確な情報を得てもらうため削除した。

④一部の大学について、入試情報・公開講座にリンクするURLを更新した。

なお、年度内のアクセスは24,185件（昨年度は18,248件）であった。

### 3. 広報資料の作成・配布

コンソーシアムを紹介する資料として、広報リーフレット「CAMPUS LIFE IN SHIGA 滋賀でデッカく学ぼう！」（A4×6P）を3万部、新たに作成した。

同リーフレットを、会員の各大学・自治体等に配布するとともに、県内の高校（62校の1・2年生・教職員）に配布した。

### 4. 事業委員会と連携した広報活動について

就職支援事業（情報交換会・合同企業説明会）、地域連携事業（環びわ湖大学地域交流フェスタ2011、地域政策ネットワーク研究会）および高大連携事業（学びへの誘い）について、各事業委員会と連携してホームページ掲載をはじめとした広報を行った。

「環びわ湖大学地域交流フェスタ2011」の取り組みにおいては、大学のほか、商工会・商工会議所等経済団体、市町企画広報担当、図書館等公共施設およびNPO中間支援センター等にポスターおよびチラシを配布した。 (以上)